

日本経済新聞社主催 U N D P ・ J I C A 特別フォーラム
人間の安全保障とアフリカの挑戦—T I C A D 8 に向けて
林芳正外務大臣開会挨拶

シュタイナー U N D P 総裁、
田中 J I C A 理事長、
武見敬三参議院議員、
ご来席並びにご参加の皆様、

本日、日本経済新聞社主催 U N D P ・ J I C A 特別フォーラム「人間の安全保障とアフリカの挑戦—T I C A D 8 に向けて」が開催されることを、心よりお祝い申し上げます。

2022 年は、人間の安全保障にとって節目となる重要な年です。2 月には、武見議員が共同議長として尽力されたハイレベル諮問パネルにおける議論を踏まえ、U N D P が人間の安全保障に関する特別報告書を公表しました。また、3 月には J I C A 緒方研究所レポート「今日の人間の安全保障」が創刊されました。

国連における開発分野のリーディングエージェンシーである U N D P と、日本における援助実施機関である J I C A が、時を同じくして人間の安全保障をテーマとする報告書を発表したことは大変重要です。

来る 8 月には、日本政府は T I C A D 8 をチュニジアで開催します。U N D P は第 1 回の 1993 年以来の共催者です。深刻な貧困、自然災害への脆弱性、紛争、感染症といった多くの課題を抱えるアフリカと共に、日本はこれまで T I C A D プロセスを通じ、人間の安全保障の理念を踏まえた取組を行ってきました。人々の命・生活・尊厳を脅かし続けている新型コロナ、ロシアによるウクライナ侵略、食料・エネルギー価格の高騰等、人間の安全保障をめぐる状況はアフリカを含めこれまでになく厳しさを増しています。こうした中、新たな時代の人間の安全保障の柱である、「保護」、「能力強化」及び「連帯」の重要性はより一層高まっています。私自身、3 月に主催した T I C A D 閣僚会合で、「人」や「成長の質」に重点を置きながら、アフリカの開発目標であるアジェンダ 2063 や持続可能な開発目標 (S D G s) の実現を後押ししていくことを訴えました。

T I C A D 8では、「人への投資」を重視し、アフリカの人々一人ひとりの能力強化を図り、能動的な社会づくり、国づくりを促すことによって、アフリカ自身が主導する発展を力強く後押ししていきます。共催者のU N D Pと連携しつつ、また、J I C Aによる現場での実践を通じて、「経済」「社会」「平和と安定」の三つの柱の全てにおけるアフリカの持続可能な発展のため、人間の安全保障の視点に立った日本の貢献を一層進めていきます。

本日のシュタイナーU N D P 総裁と田中J I C A 理事長による基調講演や、豊かな見識と経験をお持ちのパネリストの皆様によるパネルディスカッションを通じ、新たな時代の人間の安全保障についての理解が深まることを期待しています。また、本フォーラムで皆様から、T I C A D 8に重要な視座を提供していただければ幸いです。本日は活発な議論を期待しています。

(了)